

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	仮称霞ヶ関西公民館建設推進						継続					
コード	24	-	84	-	05	-	00	予算事業名	仮称霞ヶ関西公民館建設推進			
担当部署	教育総務部	地域教育支援課	地域教育支援担当	予算事業コード	会計	10	款	10	項	06	目	07

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	仮称霞ヶ関西公民館建設推進	
方向性(節)	1節	活力ある地域を創る生涯学習の推進	個別計画等の名称	川越市教育振興基本計画 第二次川越市生涯学習基本計画	
施策	1	生涯学習環境の整備・充実	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	2	身近な学習施設の整備・充実			
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	霞ヶ関地区住民のため、現霞ヶ関公民館の狭あい化を解消し、身近な場所である霞ヶ関地域に生涯学習の拠点を整備することで、地域の教育力の向上を目指し、地域コミュニティを推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	公民館未設置地区である霞ヶ関西中学校区に公民館の建設を推進する。平成20年11月に地域住民による、仮称霞ヶ関西公民館検討懇話会から建設用地に係る提言を受け平成24年度に土地を購入。更に建設検討懇話会を設置し、施設の導入機能について検討を進める。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	2,432	250	800	500	850	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	平成25年度は、建設用地の進入防止柵建設により工事請負費が増加した。					
事業費 A	1,578	2	0	290	850	203
人件費 B	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908
総コスト(C=A+B)	3,486	1,910	1,908	2,198	2,758	2,111
正規職員(1年間の従事人数)	0.26人	0.26人	0.26人	0.26人	0.26人	0.26人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	3,486	1,910	1,908	2,198	2,758	2,111

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動	懇話会の開催回数	回	0	0	0	4	25年度 4
	指標の定義・説明	地域住民による会議の開催数					
	指標の定義・説明						年度
	指標の定義・説明						年度
	指標の定義・説明						年度
指標に基づく評価	平成20年11月18日提出の「仮称霞ヶ関西公民館検討懇話会(提言)」及び土地所有者との協議により候補地を決定し、平成24年12月建設用地を取得した。今後も市民が利用しやすい施設の導入機能について検討を進める。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題			
財政難や実施計画の優先度から建設時期に遅れを生じているため、建設候補地として購入した土地の管理に経費がかかり効率性に課題がある。				
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)				
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	公民館建設が進まないことで地域住民の活動が制限され、地域の教育力の低下と地域コミュニティの形成が困難になる。また、建設用地が既に購入済であること及び地域住民からの要望も強いため、事業の廃止は考えられない。			

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				地域教育支援課	地域教育支援担当
事務事業名称		24	84	05	00	仮称霞ヶ関西公民館建設推進	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					